

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人間工学
講師名	若林 斉・李 相逸	実務経験の有無	無
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	1年次 前期
<p>目的: 人間を対象とする様々な学問に共通する「人間の行動」を考え、人間の行動を包括的にとらえることを学ぶ。</p> <p>目標:</p> <p>1) 看護や介護の現場で応用されている人間工学的な機器や効率的な動作について、物理的・力学的メカニズムを科学的に理解し、看護実践につながる基礎がわかる</p> <p>2) 看護現場における事故や腰痛などの健康影響を防ぐための人間工学的対策についてわかる</p>			
回	時間	講義内容	
1 若林	2	人間工学とは 看護と人間工学	人間工学の定義と基礎について学ぶ、看護と人間工学の関係や看護の場面でみられる人間工学について紹介する
2 若林	2	身体の働きを知る 動作効率と看護技術	ボディメカニクスについて、人体や物体の重心、安定性と不安定性、摩擦、圧力などの物理的用語を用いて、効率的な動作のメカニズムを学習する。関節の動きを表現する解剖学的用語について学ぶ。関節可動域や身体の形態的特徴の用語や計測手法について紹介する
3 若林	2	人間の特徴と機器の使用性	動作や個人差を考慮した道具の使用性や構造上の工夫について紹介する。看護に使用する機器について人間工学的な設計上の特性を理解する
4 若林	2	看護と福祉機器	生活動作や介護動作にみられる物理的特性や体位変換などに応用可能な力学的原理を学習する
5 若林	2	人間工学を看護作業に活かす	バリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶ
6 李	2	看護と情報 看護と安全 ヒューマンエラー	情報の伝達と人間工学について、人間・機械系、フィードバック制御について学ぶ 看護現場における事故について、ハインリッヒの法則やヒヤリハット体験など紹介する。事故を防ぐために、ヒューマンエラーの要因を理解し、フルプルーフ、フェールセーフなどの人間工学的方法を紹介する

7 季	2	患者と看護師を取り巻く環境	患者・看護師を取り巻く環境(温熱環境、光環境など)がパフォーマンスや健康に及ぼす影響について概説する
15	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義 14 時間	
評価方法		中間レポート 20%、最終レポート 30%、 筆記試験 50%	
テキスト		東京電機大学出版局：小川鑛一ら 「看護・介護のための人間工学入門」	
備考			